

情報提供事業

【事業一覧】

No	1	中央公民館		事業名	情報提供事業	
	講座区分		学習方法	実施日	講座名	管理番号
1	情報発信事業				館報「中央公民館だより」発行 発行部数：毎月 4, 0 0 0 部 仕 様：A 3 両面刷り、2 つ折り	—
2	情報発信事業				ホームページやInstagramを活用した情報提供の充実 ・館報をホームページに掲載 ・Instagramに各種講座や行事案内を掲載	—

様式 1

【事業一覧】

No	2	上川淵公民館	事業名	情報提供事業		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	情報発信事業			館報「上川淵」の発行 発行部数：11,000部(地区内毎戸) 仕様：A4両面 モノクロ	—	
2	情報発信事業			ホームページを活用した情報提供事業の充実 ・館報をホームページに掲載	—	
3	情報提供事業	講義・実習	2月19日(木) ～ 2月20日(金)	上川淵スマホ講座 (※)	実10655876 報10753533	
4	情報提供事業	講義・実習	2月27日(金)	デジタルよろず相談 (※)	実10655876 報10753533	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	2	上川淵公民館			経費	¥26,000		
事業名	情報提供事業				講座区分	上川淵スマホ講座		
講座名	上川淵スマホ講座							
ねらい	① コロナ禍においてより一層デジタル化が加速し、それに対応する為スマートフォンを学ぶ機会を設けることで、デジタル・ディバイドを解消する							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	2月19日(木)		基本的なスマホの操作を解説。具体的には文字入力、Wi-Fi関係用語の解説、使い方、マップの使い方などを個別対応も含めて解説した				13,000円	—
	13:30	15:30					NP0教育支援協会北関東	
	15	14						
2	2月20日(金)		LINEアプリケーションのダウンロードから使用開始、文字入力、音声通話までの使用方法を解説。				13,000円	—
	13:30	15:30					NP0教育支援協会北関東	
	15	12						
3	2月27日(金)		講義の内容やアプリケーションソフトの使用方法についての個別相談				—	—
	14:00	16:00					NP0教育支援協会北関東	
	—	9						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	高齢者のスマホに対するニーズは非常に高く、地域の現代的課題に応えている
地域のニーズにこたえているか	◎	スマホ操作に関する地域のニーズは非常に高く、本講座はそのニーズに応えている
企画・事前準備は十分であったか	○	企画・打合せ共に講師と十分な事前準備を実施
学習者の満足度はどうであったか	○	概ね良好
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	スマホが使えない高齢者が使えるようになった。デジタルデバイドの減少
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	公民館報により周知、申込者多数

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

45

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	スマホ講座は参加者の多くが高齢者であるにもかかわらず、多くの質疑応答が交わされ、さらに講座終了後も講師への質問が続くなど、参加者の積極的な姿勢が印象的であった。学ぼうという意識の高さがうかがえる講座であった。 デジタルよろず相談は、スマホ講座受講者のフォローアップを目的に開催。講義では十分に理解できなかった部分や日常のスマートフォンの使用について疑問に思っていたこと等について、個別相談を実施。分かるまで教えるという講師の姿勢が高評であった。	
改善点	受講者によって講座内容の理解に大きな差が出てしまったため講義内容を改善したい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	高齢者のスマホに関する関心は高く、講座の申込を希望する者も多数存在するため本講座は『維持』としたい。	

留意事項等	
-------	--



講座の様子



講座の様子

【事業一覧】

No	3	下川淵公民館	事業名	情報提供事業	
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号
1	情報発信事業			館報「下川淵」の発行 発行部数：3, 763部 仕 様：A3両面刷り、2つ折り	—
2	情報発信事業			ホームページやInstagramを活用した情報提供の充実 ・館報をホームページに掲載 ・Instagramに講座案内を掲載	—

様式 1

【事業一覧】

No	4	芳賀公民館	事業名	情報提供事業		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	情報発信事業			館報「芳賀」の発行 発行部数：3,500部 仕 様：A4両面刷り	—	
2	情報発信事業			ホームページ等を活用した情報提供の充実館報、各種講座開催のお知らせ等の掲載	—	
3	情報発信事業			公民館利用グループ連絡協議会 「学び連協」年2回発行	—	
4	公民館DX事業	講義・実習	10月29日(水) 10月30日(木)	芳賀スマホ講座	実10616357 報10673755	
5	公民館DX事業	講義・実習	11月11日(火) 11月17日(月)	芳賀スマホ講座 (※)	実10616357 報10673755	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	4	芳賀公民館			経費	¥12,000	
事業名	情報提供事業			講座区分	公民館D X 事業		
講座名	芳賀スマホ講座						
ねらい	① L I N Eの機能を安全に使い、家族や友人たちとのコミュニケーションを円滑に図れるようにする						
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者
周知	☒ 館報	☒ H P	☒ チラシ	☐ その他 （ ）			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	11月11日(水)		トークのやり取りや、スタンプで楽しく気持ちを伝える方法など、基本操作から写真撮影や動画の編集など、知っていると便利な機能を学習する。			6,000円	300円
	14:00	16:00				教育支援協会北関東 理事 真塩 ひとみ	
	15	7					
2	11月17日(月)		トークのやり取りや、スタンプで楽しく気持ちを伝える方法など、基本操作から写真撮影や動画の編集など、知っていると便利な機能を学習する。			6,000円	300円
	10:00	12:00				教育支援協会北関東 理事 真塩 ひとみ	
	15	7					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	コミュニケーションアプリ「LINE」の基本操作を分かりやすく解説
地域のニーズにこたえているか	◎	家族や友だちとの連絡ツールとして「LINE」を使用することが増えている
企画・事前準備は十分であったか	○	講師と事前に企画内容について、会議を開いた
学習者の満足度はどうであったか	○	講師が細部に渡り対応してくれたため、理解度が深まった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	今回だけでは学習成果を地域に還元・波及することは難しい
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報・HP、チラシの配布、地区内自治会への回覧、ポスターの館内掲示を行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	普段から「LINE」を利用している方を対象とした講座であるが、「LINE」のいろいろな機能を受講生の進行具合を見ながら、丁寧に講義をしていた。	
改善点	講座内容の他、受講生へのサポート体制を含む学習の進め方を、講師とよく相談して開催したほうが良い。	

次年度の事業継続の評価	見直し改善	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	内容が多種多様だったため、最後は駆け足での説明になってしまった。2回連続講座として開講することが望ましい。	

留意事項等	
-------	--



講座の様子①



講座の様子②

【事業一覧】

No	5	桂萱公民館		事業名	情報提供事業	
	講座区分		学習方法	実施日	講座名	管理番号
1	情報発信事業				公民館報桂萱の発行 ・毎月発行する ・発行部数13,000部、フルカラー	—
2	情報発信事業				ホームページやInstagramを活用した情報提供の充実 ・館報をホームページに掲載 ・Instagramに各種講座や行事案内を掲載	—
3	公民館DX事業	実習	6月12日(木)	桂萱スマホ教室(※) A:LINEを便利に使ってみよう！ B:防災アプリを体験しよう！	実10464359 報10472286	
4	公民館DX事業	実習	8月7日(木)	インターネット(タブレット)体験会&クールシェア	実10476910 報10476912	
5	公民館DX事業	実習	12月12日(金)	冬の桂萱スマホ教師 基礎からじっくり学ぼう！スマホ入門編	実10588425 報10694831	

【事業の概要】

No	5	桂萱公民館			経費	—		
事業名	情報提供事業				講座区分	公民館DX事業		
講座名	桂萱スマホ教室							
ねらい	① コロナ禍においてより一層デジタル化が加速し、それに対応する為スマートフォンを							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	■ 館報	■ HP	■ チラシ	■ その他（Instagram）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	6月12日(木)		Aコース ・スマートフォンの基本操作 ・LINEの操作 (トーク、スタンプ、写真、音声等)			—	—	
	10:00	12:00				ソフトバンク株式会社		
	20	11						
2	6月12日(木)		Bコース ・スマートフォンの基本操作 ・防災アプリ体験 ・災害情報情報の収集			—	—	
	13:30	15:30				ソフトバンク株式会社		
	20	7						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	誰一人取り残されることのないようデジタル化への対応として学習機会の提供ができた
地域のニーズにこたえているか	○	スマホを持っても操作に自信のない高齢者へ向けた講座が提供できた
企画・事前準備は十分であったか	○	対象となる受講者をイメージしながらやさしい講座の企画が行えた
学習者の満足度はどうであったか	△	自信のスマホの疑問等も質問できる時間をもっと設けてほしかった様子だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	学習内容を復習し、進んで習得しようという意欲がうかがえた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	声掛けやチラシ配布を行ったが参加者が期待値以下だったため、更に工夫が必要

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

37

事業の総合評価	C	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	受講者の多くはスマホを持っても操作に自信がないため、電話機能しか使わないという現状でした。それでも電話以外の使用方法を知りたい、学びたいという意欲をもって参加されていました。また、学んだことを忘れないように定期的にスマホ講座を開催して欲しいという要望ができました。同じことを何度も繰り返し体で覚えられれば、電話以外の基本的な操作も自信を持って行えると思いますので、また次のステップへ進みやすくなると思います。一度参加された方が継続して講座に参加できるようになるべく多く開催できれば良いと感じました。	
改善点	スマホを使用してできるさまざまな体験を提供したいという思いでステップアップの内容で企画しても。参加者の多くはスマホの基礎を何度も繰り返し受講したいという要望が多いため、入門～初心者向けの内容の講座を複数回実施しようと思います。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	社会のデジタル化が進み、スマートフォンでできる可能性が日々増える中、誰一人取り残されることのないようデジタルディバイド解消に向けた取り組みは今後も求められるものであり、その機会の提供は続けて行く必要があるため。	

留意事項等	
-------	--

	
Aコース:LINEでを便利に使ってみよう!	Bコース:防災アプリを体験してみよう!

様式 1

【事業一覧】

No	6	東公民館		事業名	情報提供事業	
		講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号
1		情報発信事業			公民館報「あずま」を発行 発行部数: 15, 300部 (毎月発行)	—
2		情報発信事業			ホームページを活用した情報提供の充実 ・館報をホームページに掲載 公民館内モニターにて来館者へ情報提供 ・自主グループの活動紹介を兼ねて、文化祭の様子を上映	—
3		公民館DX事業	実習	12月8日(月)	東公民館情報提供事業「東スマホ教室」 (※)	実10603128 報10691359

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	6	東公民館			経費	—	
事業名	情報提供事業			講座区分	公民館DX事業		
講座名	東公民館情報提供事業「東スマホ教室」						
ねらい	① I T技術の進化による急速なデジタル化に対応するため、スマートフォンを学ぶ機会を設けることにより、デジタル・ディバイドを解消する ② スマートフォンの活用により住民の利便性を高める ③ 自ら収穫したじゃがいもを自ら調理することで、健全な食生活を行う能力を身につける						
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者
周知	☒ 館報	☐ H P	☒ チラシ	☐ その他（ ）			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	12月8日(月)		スマートフォンの基礎、L I N Eの使い方			—	—
	14:00	16:00				ソフトバンク(株) スマホアドバイザー	
	20	16					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	スマホに苦手意識を持つ高齢者は多いため
地域のニーズにこたえているか	○	特に高齢者にとってはスマホへの関心が高いため
企画・事前準備は十分であったか	○	企画、講師との調整、内容の確認等、余裕をもって準備をすることができた
学習者の満足度はどうであったか	△	個人的に差があり、満足度に差があったように感じる
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	講座の内容的には、直接地域への還元は見込みないが、スマホを通じて他者との交流に役立ててもらえればと思う
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報やチラシによる周知により、募集定員に達することはできた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

37

事業の総合評価	C	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	今回の講座はスマホの初心者向けのものだったが、募集後、数日で定員に達するなど、関心の高さが伺えた。講座は、会議室のスクリーンにテキスト等を映し出して説明を行う講師が1名、全体を見回り参加者の個別の質問に答える講師が1名という体制で丁寧に研修を行った。スマホの持ち方といった初歩的なところから始め、最後はLINEのやり取りまで進め、一通りの使い方を十分ではないが自分のペースで学ぶことができたと思う。参加者のスマホの習熟度に差があり、進め方に難しい面もあったが、これを機に、少しでもスマホに日々触れてもらい、スマホがさらに身近なものになればと思う。	
改善点	初心向けの講座として開催したが、初心者でも、スマホの習熟度に差があるため、初心者度の設定が難しかった。講座内容についてももう少し検討したほうがよいと思った。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	スマホに苦手意識を持つ高齢者にとって、情報収集やコミュニケーション促進の手段としてスマホを利用することは大変有益であるため、今後も実施を検討していきたい。	

留意事項等	
-------	--



東スマホ教室



東スマホ教室

様式 1

【事業一覧】

No	7	元総社公民館		事業名	情報提供事業	
	講座区分		学習方法	実施日	講座名	管理番号
1	情報発信事業			通年	館報「かんぼう元総社」の発行 発行部数：毎月 9, 100 部 仕様：A 3 両面刷り、2 つ折り	—
2	情報発信事業			通年	ホームページやInstagramを活用した情報提供の充実 ・館報をホームページに掲載 ・Instagramに各種講座や行事案内を掲載	—

様式 1

【事業一覧】

No	8	総社公民館		事業名	情報提供事業	
	講座区分		学習方法	実施日	講座名	管理番号
1	情報発信事業				総社公民館報の発行 発行部数：毎月 6, 511 部 仕様：A 3 両面刷り	—
2	情報発信事業				ホームページ等を活用した情報提供の充実 館報、各種講座開催のお知らせ等の掲載	—

様式 1

【事業一覧】

No	9	南橘公民館		事業名	情報提供事業	
	講座区分		学習方法	実施日	講座名	管理番号
1	情報発信事業				館報「なんきつ」の発行 発行部数：18,000 部 仕様：A 4 両面刷り	—
2	情報発信事業				ホームページ等を活用した情報提供の充実 館報、各種講座開催のお知らせ等の掲載	—

様式 1

【事業一覧】

No	10	清里公民館	事業名	情報提供事業		
		講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号
1		情報発信事業			館報「館報きよさと」の発行 発行部数：1, 320部 仕様：A3両面刷り、2つ折り	—

様式 1

【事業一覧】

No	11	永明公民館	事業名	情報提供事業		
		講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号
1		情報発信事業			館報「えいめい」の発行 発行部数：10,020部 仕様：A4両面刷り	—
2		情報発信事業			ホームページによる情報提供 (館報「えいめい」の最新号とバックナンバー、各種行事、学習グループの紹介ほか)	—

様式 1

【事業一覧】

No	12	城南公民館	事業名	情報提供事業		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	情報発信事業			館報（城南公民館だより）の発行 ・毎月発行 ・発行部数6, 300部、A4白黒両面、担当者作成	—	
2	情報発信事業			ホームページを活用した情報提供の充実 ・館報の掲載 ・城南地区歴史散歩（PDFファイル版）の公開	—	
3	公民館DX事業	実習	3月25日(水)	城南春のスマホ教室（※） スマホ入門編	実10723480 報10788926	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	12	城南公民館			経費	—	
事業名	情報提供事業			講座区分	公民館DX事業		
講座名	城南春のスマホ教室 スマホ入門編						
ねらい	① 加速するデジタル化に対応するため、スマートフォンを学ぶ機会を設けることで、デジタル・ディバイドを解消する ② スマートフォンを活用することで、市民の利便性を高める ③ 企業が行う社会貢献事業の積極的な活用						
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	3月25日(水)		・基本操作を学ぶ。 ・アプリ、便利機能を学ぶ。 ・カメラ機能により二次元コードを読み取る。			—	—
	13:30	15:30				ソフトバンク(株) スマホアドバイザー	
	15	17					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	地域にはスマホ販売店等が少なく、端末操作等を学ぶ機会がない
地域のニーズにこたえているか	○	募集定員に達した後も参加の問い合わせがあり、スマホに対する関心の高さが伺えた
企画・事前準備は十分であったか	○	何度も講師側と連絡を取り合っていたため、開講はスムーズであった
学習者の満足度はどうであったか	○	基礎講座のため、概ね参加者の多くが満足そうであった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	質問も多く、繰り返し確認しながら自身で学ぼうとする意欲が伺えた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	約2ヶ月前からポスター掲示とチラシ配布を行い、早くに参加募集の定員に達した

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	参加者は自身のスマートフォンを持っているのに、使い方や機能について分からないことがあっても聞く相手もおらず、何となく使用していることも多いと話していた。本講座において基本的な操作の電源の入れ方に始まり、スマホの持ち方、スピーカーの位置、アプリの機能等を講師から実践を交えて説明を受け、他の参加者とも一緒に悩み、考え、学ぶ姿が見受けられ、皆笑顔であったことから充実した内容であったのではと考えます。アンケート結果から講座の満足度も高く、同種の講座を次回以降も希望する意見も多かった。	
改善点	参加者の殆どが70歳以上であり、単発の講座ではなく繰り返し学びの会を作ることで、理解度が向上が図れると思われる。講座を定期化して繰り返し行うことを検討したい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	今後もデジタル化が進み、年齢層に関係なく機械操作が必要になることがどんどん増えていくことが見込まれ、デジタル・ディバイド解消に向けた取り組みは必要であるため。	

留意事項等	
-------	--



講座の様子① 相談しながらスマホ操作



講座の様子② 自撮りの練習

【事業一覧】

No	13	大胡公民館	事業名	情報提供事業		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	情報発信事業		毎月1回 発行	館報「大胡公民館報」の発行 発行部数：6, 640部 仕様：A4両面刷り	—	
2	情報発信事業		随時	ホームページを活用した情報提供の充実 ・館報をホームページに掲載	—	
3	公民館DX事業	実習	1月21日(水) 1月26日(月)	スマホ教室（※） ・Aコース 【きれいに写真や動画を撮ってみよう！】 ・Bコース 【アプリを使いこなそう！】	実10659540 報10729656	

【事業の概要】

No	13	大胡公民館			経費	—		
事業名	情報提供事業				講座区分	公民館DX事業		
講座名	スマホ教室							
ねらい	① デジタル化が急速に進む中で、世代等による情報格差の解消を目指して学習機会を提供する ② スマートフォンに触れ、実際に操作することにより活用力を高め、生活の利便性向上につなげる							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	1月21日（水）		Aコース【きれいに写真や動画を撮ってみよう！】 ・写真や動画の撮影・保存の仕方 ピントの合わせ方、インカメラで自分の方向を撮影する、保存した写真を使つての情報検索 ・カメラ機能でQRコードを読み取る			—	—	
	10:00	11:30				ドコモショップ前橋店 スタッフ		
	20	12						
2	1月26日（月）		Bコース【アプリを使いこなそう！】 ・アプリの紹介とインストール方法 ・地図機能（マップ）の基本的な使い方 目的地や周辺施設の検索			—	—	
	10:00	11:30				ドコモショップ前橋店 スタッフ		
	20	13						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	スマホを実際に操作することで利便性を感じ、活用力を高められた
地域のニーズにこたえているか	○	世代間の情報格差の解消に貢献できた
企画・事前準備は十分であったか	◎	ドコモショップで人気の講座を参考に企画し、打ち合わせを密に行った
学習者の満足度はどうであったか	○	スタッフの個別対応が丁寧だったので、参加者の満足度は高かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	参加者に高齢者が多く、あまり見込めない
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報や回覧で周知を行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	ドコモショップのテキストがカラーで文字や写真が大きく掲載されており、参加者が理解しやすかった。また、ドコモショップからスタッフが5名派遣され、操作に戸惑う参加者にも丁寧に対応していたので、大変好評だった。	
改善点	アプリの講座に関しては時間が短いという意見があった。カタカナ表記が多くて説明が分かりづらいので、2回に分けて実施しても良かった。普段使用しない機能に関する内容は、時間をかけて説明する必要があると感じた。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	スマホを購入する高齢者が増え、世代等による情報格差の解消や、生活の利便性向上のために必要な講座である。参加者からも次回の開催要望があった。	

留意事項等	
-------	--

	
Aコース	Bコース

【事業一覧】

No	14	宮城公民館		事業名	情報提供事業	
	講座区分		学習方法	実施日	講座名	管理番号
1	情報発信事業				館報「公民館報 みやぎ」の発行 発行部数：2，300部 仕様：A3両面刷り、2つ折り 特記事項：宮城支所や地域のこども園・小中学校の行事を掲載している	—
2	情報発信事業				ホームページを活用した情報提供の充実 ・館報をホームページに掲載 ・公民館主催事業の案内等をホームページに掲載	—
3	公民館DX事業		実習	10月9日(木)	宮城スマホ教室 (※)	実10584132 報10642347

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	14	宮城公民館			経費	—		
事業名	情報提供事業				講座区分	公民館D X 事業		
講座名	宮城スマホ教室							
ねらい	① デジタル化が加速している中、スマートフォンの操作方法を学ぶことで、デジタルデバイトの解消を図る ② スマートフォンを活用することで、市民の方の利便性を高める							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ H P	☒ チラシ	☐ その他 ()				
回	月 日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	10月9日(木)		スマホの基礎とLINE			—	—	
	13:30	15:30				ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー		
	20	9						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	デジタル化が加速している中、デジタルデバイトの解消を図るよう努めた
地域のニーズにこたえているか	○	スマートフォンの使い方がよくわからないという声を聞くため、開催した
企画・事前準備は十分であったか	◎	講座内容の決定・確認、準備等相談をしながら実施した
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケートで概ね高評価だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	個人の学習のみで、学習成果を地域に還元・波及できてはいない
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報、ホームページ掲載、チラシ配布、他施設へのチラシ依頼等をした

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	初心者向けの講座だったが、説明後実際に操作をする際、講師の方が見回りながら疑問点に答える形で進行していき、丁寧でわかりやすい内容だった。講座中や休憩時に質問をしている方が多く、もっと学びたいという感想もあり、スマートフォン操作についての関心の高さが窺えた。	
改善点	当初は地区内での参加者募集をしていたが参加希望者が少なく市内の方対象と変更したため、次年度以降の受講対象者の設定を検討する必要性を感じた。スマートフォンの操作の熟練度が異なるため、どのようなことを学びたいかニーズを把握して、講座内容を考えていきたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	スマートフォンを活用する場面が多くなっていることから、活用方法を学ぶ機会の必要性を感じている。	

留意事項等	
-------	--

	
講座の様子	

【事業一覧】

No	15	粕川公民館	事業名	情報提供事業	
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号
1	情報発信事業		毎月1日	館報「粕川」の発行 発行部数：3, 700部 仕 様：A3両面刷り 2つ折り	—

様式 1

【事業一覧】

No	16	富士見公民館	事業名	情報提供事業	
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号
1	情報発信事業			館報「館報ふじみ」の発行 発行部数：8, 000部 仕様：A4両面刷り	—
2	公民館DX事業	実習	7月 8日(火) 7月11日(金)	富士見スマホ教室 (※)	実10503712 報10565822

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	16	富士見公民館			経費	—		
事業名	情報提供事業				講座区分	公民館D X 事業		
講座名	富士見スマホ教室							
ねらい	① 世代や地域等によるデジタル・ディバイドが生じないように、情報活用能力を習得する学習機会を提供する ② スマートフォンを持っても活用できていない地域住民がより便利な機能や使用方法を知り、生活に役立てていくきっかけとする							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	7月8日(火)		・インターネットの使い方 ・検索方法、カメラ機能の使い方 ・QRコードの読み取り方法				—	—
	10:00	12:00					ドコモショップ 前橋東店スタッフ	
	20	18						
2	7月11日(金)		・アプリの使い方 ・インストール、アンインストールの方法 ・ネットショッピングの方法				—	—
	10:00	12:00					ドコモショップ 前橋東店スタッフ	
	20	18						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	スマホにまだ慣れていない世代向けの教室になっている
地域のニーズにこたえているか	○	公民館で開催することで参加しやすい
企画・事前準備は十分であったか	○	前年度と同じ携帯会社に依頼したので進めやすかった
学習者の満足度はどうであったか	○	参加者には十分満足していただける内容であった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	参加者が高齢の方ばかりなので、その場での学習のみの形になってしまう
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報、回覧チラシで周知したため、申込開始すぐに定員に達した

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価
◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点 38

事業の総合評価	C	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、 30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	スマホに慣れていない年齢層60代、70代の参加者からは、公民館でスマホ教室を開催してもらい大変ありがたいとの声がある。なかなか携帯ショップまで行くのが難しい人もいるようなので、スマホ教室の必要性感じた。	
改善点	定期的に行なえるよう計画していきたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、 「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	地域住民の要望があるため。	

留意事項等	
-------	--

	
スマホ教室の様子	スタッフによるサポートの様子